



猫は猫！

貴方の愛猫は、貴方が思っている以上に大型の猫科動物との共通点が多いのです。貴方のトラちゃんが虎と唯一違う点は、体の大きさのみです。全ての猫科動物は、高度に進化した肉食獣であり、賢くひっそりと獲物に近寄り、迅速に捕まえて食べます。小さな猫科動物である猫を家に連れてきて生活を共にしたとしても、その本能や生理機能は変わりません。実は、私たちの生活のパートナーである猫は、人間の生活に順応させられているのではなく、懐いているだけなのです。



社会的な動物

飼い猫は、ライオンと同様、生来社会性があります。生存競争を強いられるほど食べ物が不足していない限り、猫たちは強い社会的絆を結びます。適切な時期に人間と接触していれば、猫は人間を自らの社会構造に取り入れることを学びます。意外に思われるかもしれませんが、猫の視点では、貴方は猫の群れの一部なのです。



貴方の愛猫が遊ぶのは、狩りの練習をしているのです。

生来のハンター

大型の猫科動物と同様、貴方の猫は強力な狩猟本能を持っています。猫の遊びは、基本的に狩猟本能によるものなのです。追いかける、忍び寄り、待ち伏せ、飛びかかる行為は、すべて狩りの練習なのです。体の大きさに関わらず、猫科動物は生き残るためにこれらの技を磨かなければなりません。虎と同様、猫は辛抱強い待ちの姿勢から、瞬時に迅速な行動に切り替えることができます。

大きな猫と小さな猫

- 生の獲物を食べるように体ができている
- 食べ物から水分を摂取する
- 炭水化物を消化する能力が限られている
- 歯と顎が生肉を食べるようにできている
- 社会的な動物である
- 遊ぶことによって獲物狩りが上手になる
- 毛皮が迷彩色をしている
- 暗いところでもよく眼が見え、獲物を捕まえることができる
- 嗅覚が発達している

殺すことが宿命

大小問わず全ての猫科動物は、生来肉食動物です。すなわち、猫科は他の動物の生の肉を食事として必要とする特別な種なのです。基本的に必要とする栄養は、小さな猫もライオンなどの大型の猫科動物と同じです。違うのは、獲物の大きさのみです。いずれも、肉食獣として進化し、完全に生肉の食事に対応しているのです。大きくても小さくても、猫科動物は野菜や穀類を食べるようにはできていません。猫は牛ではないのです。

歯を見ればわかる

貴方の猫の歯を見てみてください。大型の猫科動物同様、その顎と歯は獲物を食べるようにできています。大きな門歯は、獲物を捕らえ、保持し、殺すことができます。鋭い奥歯は、皮膚、肉、および骨を切り裂くことができます。猫は草食動物のように食べ物を噛んだりはしません。顎が左右に動かず、平らな臼歯もないため、食べ物をすり潰すことができないのです。猫が奥歯を使うのは、食べ物を飲み込めるよう小さく切り刻むためのみです。



猫もライオンも、同じ肉食獣としての歯と顎を持っています。

一日の生活

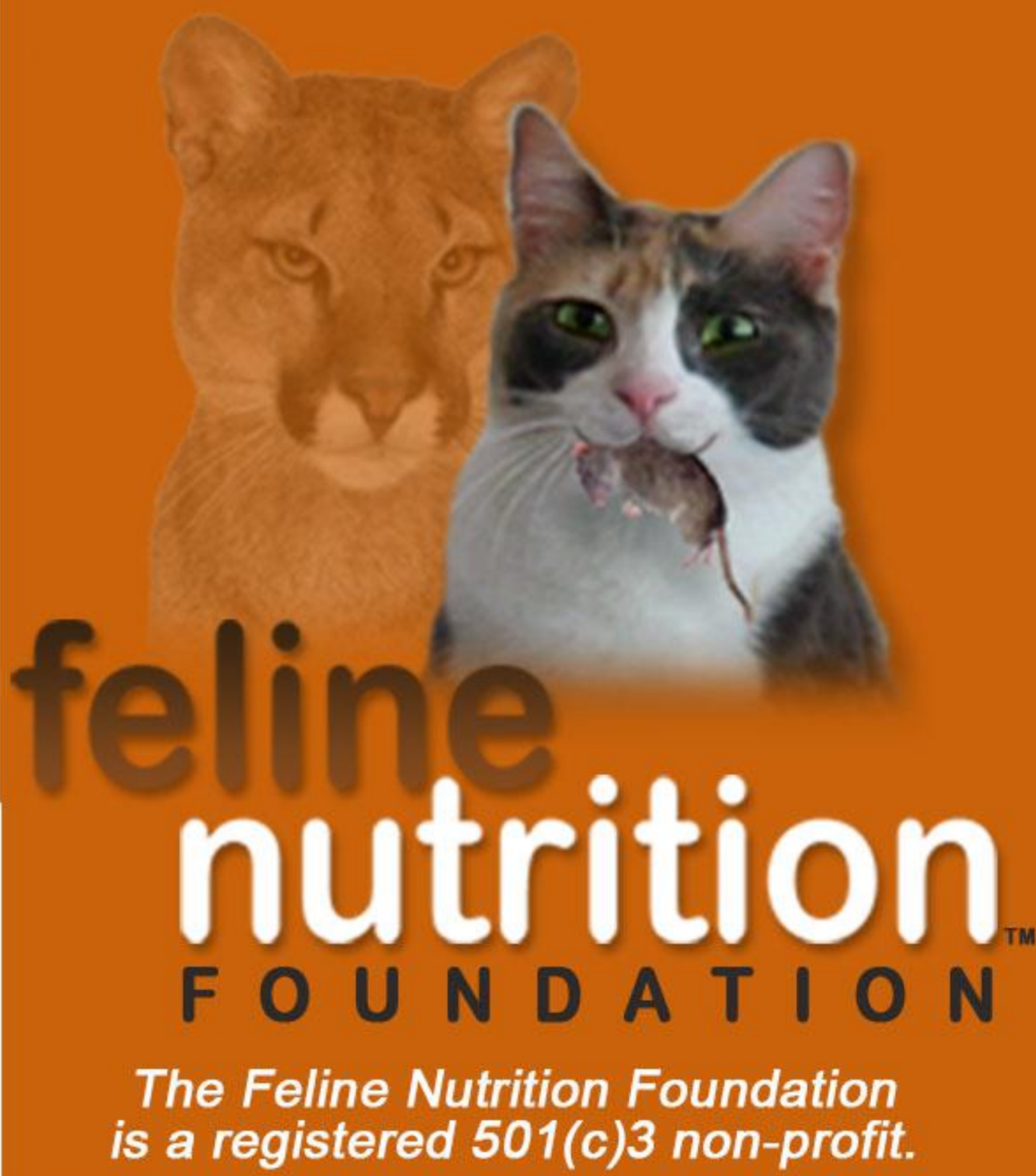
ライオンや虎を一日観察してみると、その様子があまりに見慣れたものであることに驚くことでしょう。よく眠り、毛づくろいして、遊んで、まさに貴方のトラちゃんと同じです。大型の猫科動物も、貴方の猫と同じようにゴロゴロ喉を鳴らします。キャットニップを与えると間の抜けたように地面を転げ回ります。木で爪とぎもします。小さな猫同様、忍び寄り、飛びついて遊びます。それとも、逆に猫が大型の猫科動物に似ているのでしょうか？その行動、生理、そして特に食生活に関して言えば、貴方の猫は小さな虎なのです。

詳細

詳しくは、[FelineNutrition](#)をご覧ください。生肉食が初めての方にも、ずっと生肉食を実行してこられた方にも、科学的根拠に基づいた情報が満載です。[Facebook](#)ではFeline Nutritionとして登録しておりますので、皆様の投稿も大歓迎です。

猫の健康増進にご協力ください

フィーライン・ニュートリションへのご参加は無料です。猫の食生活を変えるために何が出来るかを、一緒に学習していきましょう。詳細はFelineNutritionFoundation.orgをご覧ください。



The Feline Nutrition Foundation is a registered 501(c)3 non-profit.

